

公益社団法人全国和牛登録協会
令和5年度事業報告書

令和5年度は、コロナ禍から社会経済活動が正常化しつつある中で、景気の持ち直しも期待されましたが、地政学的リスクや気候変動はむしろ深刻化しており、食料や肥料、エネルギー供給の不安感は強まっています。さらに、物価上昇等の影響を受け国内消費が停滞し、枝肉価格の低迷から肥育農家の収益性が低下し、子牛価格にも影響を与え、我が国でのBSE発生時以来、21年ぶりに肉用牛子牛生産者補給金制度が発動されるなど、畜産経営にとってもたいへん厳しい年となりました。一方で、このような厳しい情勢の中にあっても、海外からの和牛肉への評価は安定し、牛肉の輸出については円安も追い風となり、牛肉輸出額は過去最高を更新しました。引き続き、和牛が日本農産物の輸出を牽引する役割を果たしていくためにも、和牛の持続的な生産力への期待感は大きく、より一層生産効率を高め、コスト低減に努め、関係者が一丸となってこの難局を乗り越えなければなりません。

さて、昨年は第13回全国和牛能力共進会（以下、「第13回全共」）の概要が決定され、会期は令和9年8月26日から30日の5日間で、最終比較審査会場としては、種牛の部はホクレン十勝地区家畜市場、肉牛の部は(株)北海道畜産公社十勝工場にそれぞれ決定されました。また、開催テーマである「魅力発信 新しい力でつなぐ和牛の未来」には、和牛の新たな価値観の醸成とともに、地域における和牛の魅力に一層磨きをかけ、将来の担い手とともに和牛の未来を発展させていきたいという願いが込められました。

このような中、登録事業については、基本本原登録68,149頭（前年対比87.9%）と前年より9,399頭減少しました。生産資材の高騰等を背景に会員の離農が進み大幅な減少となりましたが、収益性の向上による生産基盤の強化が急がれます。また、高等登録については1,231頭（前年対比103.8%）と前年対比で45頭の増加となりました。子牛登記については、全国的に受精卵産子が増加し、523,152頭（前年対比100.2%）で微増となり、今年度も50万頭以上を維持することができました。このような中で、登録事務の効率化を図るため、支部端末システムの強化とともに、登録基幹システムのリプレースにも取り組んできました。

育種改良事業については、第13回全共の概要が決定されたことを受けて、全共出品に向けた取り組みとともに、和牛の将来を見据えた新たな育種計画の見直しが始められ、地域の多様な育種目標の設定に応えられる育種牛集団の構築並びに育種牛への指定交配等が検討されました。とくに、産肉能力の改良が飛躍的に進んだ現状においては、育種組合から造成される地域の特色ある種雄牛には、一定水準の産肉能力に加えて、新たな地域の魅力につながる能力も期待されています。また、種雄牛造成においては、全国的に特定系統への集中が懸念されている中で、遺伝的多様性確保のため、SNP情報を用いたストラクチャー分析によるグルーピング（系統分類）の活用を推進しました。SNP情報に基づき分類された育種牛の特色を確認するとともに、次世代の交配シミュレーション結果に基づく指定交配の考え方等の検討を行いました。

産肉能力検定においては、現場後代検定を終了した71頭の種雄牛の中で、BMSNo.10以上の能力を持つ種雄牛は49頭（69.0%）となり、脂肪交雑に優れた種雄牛造成の現状は確認できましたが、今後は、脂肪の質や分娩間隔、飼料利用性等その他の能力にも着目した種雄牛造成が期待されています。

ゲノミック評価においても、各県との共同調査研究において新たな形質に対しての利用を模索し、地域の多様な改良目標の達成につながるよう協力しました。また、繁殖成績優秀な和牛改良組合20組合を表彰し、関係者とともに生産性の高い集団づくりの重要性を確認しました。なお、改良組合育成強化研修会については、能登半島地震の影響で開催を見送ったブロックがありましたが、その他の地域や女性部研修会については予定どおり開催することができました。被災地の一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

技術者等養成研修事業については、全国から多数の受講をいただき、登記検査委員並びに地方審査委員認定講習会、和牛入門ゼミナール、ブロック別地方審査委員会を開催いたしました。

さて、和牛遺伝資源の不正な流通を防止し、知的財産としての保護を目的とした和牛遺伝資源関連二法が施行され3年が経過しました。講習会等においてこれらの法律改正及び制定の背景や主旨を周知しましたが、改めて家畜改良増殖法の遵守に係る指導の徹底が求められました。また、畜産生産力・生産体制強化対策事業の「和牛の信頼確保対策」により、和牛遺伝資源を守る取組みの一環として遺伝子型検査による親子判定のモニタリング調査にも協力しました。農林水産省をはじめとして優良和牛遺伝子保留中央協議会や和牛遺伝資源国内活用協議会とも連携をとり、和牛遺伝資源の適正な流通管理と保護に努めました。

運営管理の部については、会員数は40,272名（前年対比95.3%）と前年より1,998名の減となり、高齢化並びに担い手不足による会員の減少は引き続き進んでおり、担い手確保は喫緊の課題となっています。この他の事業については、会員はじめ各支部・支所並びに委託団体の協力により概ね計画通りに実施することができました。

I. 事業の部

1. 登録・検定事業

1) 登記・登録頭数

本年度の登録頭数は総計69,380頭（前年度比88.1%）、前年度実績比-9,354頭の減少でした。

種 類	基本登録 (雄・雌含)	本原登録 (雄・雌含)	高等登録 (雄・雌含)	計 (前年度比)
黒毛和種	40,988	27,064	1,231	69,283 (88.1)
褐毛和種	73	8	—	81 (88.0)
無角和種	16	—	—	16 (177.8)
計 (前年度比)	41,077 (90.8)	27,072 (83.8)	1,231 (103.8)	69,380 (88.1)
前年度実績	45,239	32,309	1,186	78,734

子牛登記頭数は 523,152頭(前年度比100.2%)で、前年度実績比1,161頭の増加でした。また、血統証明書発行件数は4,958件（前年度比109.3%）でした。

2) 種雄牛の各種検定及び遺伝子型調査について

本年度実施された種雄牛の各種検定並びに遺伝子型調査は次のとおりでした。

なお、遺伝子型調査においては、和牛DNAデータベースを活用したSNP情報による遺伝子型調査を実施しました。

	今年度実績	前年度実績	前年度比
産子検定	0 件	0 件	(0.0%)
産肉能力検定 直接法	96 件	92 件	(104.3%)
〃 間接法	0 件	0 件	(0.0%)
現場後代検定法	105 件	118 件	(89.0%)
遺伝子型調査	101,045 件	89,820 件	(112.5%)
〃 (再交付)	2,244 件	2,154 件	(104.2%)
〃 (不良形質)	738 件	752 件	(98.1%)

3) 現場後代検定合同調査会の開催について

各道府県の特徴ある種雄牛造成の推進及び若い種雄牛の発掘を目的に、令和6年2月8日～9日の間、京都府京都市において現場後代検定合同調査会を開催しました。13道県から14頭の種雄牛の後代42頭（去勢25頭、雌17頭）が出品されました。また、シンポジウムは、「新たな和牛肉の価値観の定着に向けて」というテーマを掲げて開催しました。なお、各県で開催された県内版現場後代検定枝肉調査会にも必要に応じて助成並びに指導を行いました。

4) モニタリング調査の実施について

国の畜産生産力・生産体制強化対策事業「和牛の信頼確保対策」を実施し、各道府県支部・委託団体の協力のもと遺伝子型による親子判定のモニタリング調査を行いました。

2. 育種改良事業

1) 集団育種事業の推進と現地調査及び指導・援助

育種組合の現地検討会及びミニ現地検討会を以下のとおり実施し、遺伝的多様性の維持・拡大を狙いとした系統再構築の進捗状況の確認を行い、育種候補牛の選定、計画交配など、各育種組合の実情を踏まえて調査、指導を行いました。育種牛認定頭数は雄27頭、雌560頭（新規338頭、再認定222頭）となりました。

十勝(11/14)、三戸地方(10/17)、いわて和牛中央(10/6)、県南(2/29)、栗原(3/6)、登米(3/7)、みどりの(3/8)、淡路(3/12)、美方(3/19)、城崎(3/18)、鳥取(3/27)、北松(12/4)、五島(12/5)、壱岐(12/6)、玖珠郡(4/17)、宮崎市(9/27)、東諸(9/27)、南那珂(9/25)、西諸県郡市(9/13)、都城(9/26)、肝属(12/14)、曾於(12/15)、鹿児島中央(12/19)、薩摩(12/20)、始良(12/21)

2) 和牛改良組合の育成強化

新規認定並びに合併や地域拡大の申請のあった組合について、和牛改良組合強化委員会においてその内容を審議し、認定を行いました。認定和牛改良組合数は441組合となりました。効率的な和牛生産が求められている中で、改良組合における分娩間隔短縮へ

の取り組みが重要となっています。これらの取り組みが改良組合の活動強化と改良組織の育成強化、繁殖基盤の拡充につながるよう、改良組合に関する行事を以下のとおり実施しました。

(1) 和牛改良組合育成強化研修会の開催

本研修会は、講義や事例発表により、和牛改良の知識の取得と和牛改良組合の小集団活動のあり方や個々の農業経営強化に努めるとともに、改良組合間の交流を深めることを目的として開催し、改良組合が抱えている問題点の解決の一助となりました。研修会は、東部地区・中四国地区・九州地区において次のとおり開催しましたが、石川県での開催を計画していた中部地区については、令和6年能登半島地震の被害状況を考慮し中止しました。

地 区	会 場	期 日	参加者数
東部地区	岩手県盛岡市・雫石町	12/ 4～12/ 5	116名
中四国地区	岡山県津山市・真庭市	11/15～11/16	78名
九州地区	鹿児島県鹿児島市・日置市	10/30～10/31	79名

(2) 和牛改良組合女性部研修会 令和6年3月4日 (50名)

和牛改良組合の女性部を対象に、和牛改良の知識習得を図り、和牛生産を支える女性の交流を深めることを目的に開催しました。

(3) 支部主催和牛振興研修会への協力

本会支部主催の和牛振興研修会の開催に対し、合計28回の開催助成と講師の派遣を行いました。

(4) 認定和牛改良組合の表彰

「認定和牛改良組合および育種組合表彰規程」に基づき、改良組合活動に優れ、顕著な功績があったと認められる組合に対して表彰を行いました。今年度は、改良組合として繁殖成績優秀な組合を対象とし、分娩間隔実績値の部15組合、分娩間隔・飼養管理技術の部5組合の表彰を行いました。

3) 各種遺伝情報の解析とその有効利用について

本年度も各種遺伝情報の解析とその利用システムの普及に努めました。産肉能力については、支部独自の情報収集と併せて、国の行う産肉情報収集にかかわる事業について取り組み、育種価評価事業に活用しました。また、脂肪の質にかかわる育種価評価についても各道府県との連携のもと実施し、情報提供を行いました。種牛能力については、子牛登記証明書備考欄への母牛の分娩間隔の育種価指標表示をはじめとして種牛能力の改良に係わる情報の活用を推進しています。

牛肉の美味しさに関する調査については、「和牛肉の新価値観構築事業」等を利用して、牛肉の一般成分や脂肪交雑の形状等のデータ収集を行うとともに、和牛肉の新たな

客観的評価手法の検討を進めました。

ゲノミック評価については、各道府県と協力し、枝肉形質における多角的な精度の検証を行うとともに、飼料の利用性や食味性に関わる形質についても評価手法の検証作業を進めました。また、遺伝的多様性の確保を図るため、SNP情報を用いた系統分類を実施し、各地域で取り組む系統再構築のための情報として活用を進めました。さらに、協会が開発・活用を進める和牛SNPチップ（和牛パネル）に繁殖能力や食味性と関連するSNPを搭載し、和牛DNAデータベースの充実をはかるとともに、DNA情報を用いた簡便かつ効率的な育種・改良手法について検討を行いました。

なお、本年度は産肉情報入力0件（本会入力のみ、その他収集枝肉情報100,911件）、情報解析（年間）14件、情報解析（1回）40件でした。

4) 優良和牛遺伝子の保留強化

優良和牛遺伝子保留中央協議会との連携を強化し、生産者・関係者が一丸となって和牛遺伝資源の適正な流通管理と保護に努めました。また、和牛遺伝資源国内活用協議会の活動にも協力し、和牛遺伝資源の重要性について啓発・普及活動に取り組みました。

5) 各種委員会について

中央審査委員会	令和5年4月14日
育種推進委員会	令和5年6月22日
産肉能力検定委員会	令和6年1月24日
産肉能力検定小委員会	令和5年5月28日、令和5年10月2日
和牛改良組合強化委員会	令和6年1月23日

3. 技術者等養成研修事業

1) 地方審査委員認定講習会の開催について

各ブロック内の支部の協力により下記のとおり4会場で開催し、審査委員の養成と登録業務の円滑化に努めました。

回次	期間	会場	受講者数
第226回	8/29～8/31	宮城県遠田郡美里町 JA全農みやぎ総合家畜市場	17名
第227回	10/10～10/12	島根県出雲市 島根県畜産技術センター	28名
第228回	10/23～10/25	北海道上川郡新得町 北海道立総合研究機構畜産試験場	19名
第229回	11/28～11/30	長崎県雲仙市吾妻町 JA全農ながさき県南家畜市場	29名

2) 登記検査委員認定講習会の開催について

本部主催の登記検査委員認定講習会について下記のとおり実施しました。

回次	期間	会場	受講者数
第24回	4/26～ 4/28	兵庫県加西市 神戸大学大学院農学研究科 附属食資源教育研究センター	32名
第25回	5/10～ 5/12		23名

3) 和牛入門ゼミナールの開催について

和牛登録業務の初心者、新任者を対象に、審査・登録実務研修と改良に関する講習会に分けて開催し、登録業務・審査の周知と和牛改良の基礎知識の修得など若手技術者の養成に努めました。

審査・登録実務研修

実習の部	期間	会場	受講者数
東日本	10/24～10/27	福島県西白河郡西郷村 独立行政法人家畜改良センター 中央畜産研修施設	22名
西日本	12/17～12/20	広島県三次市 全農広島県本部三次家畜市場	38名

改良の基礎研修

講義の部	期間	会場	受講者数
全体	6/12～ 6/13	京都府京都市 全国和牛登録協会 2階ホール	79名

4) 支部・支所職員事務研修会の開催について

登録支部・支所・委託団体の登録担当者を対象者として、登録事務を正確並びに円滑に遂行するため、研修を行いました。また、インボイス制度と電子帳簿等保存制度への対応を主とする会計研修会を実施しました。

支部・支所職員事務研修会	令和5年7月11日～12日	(38名)
インボイス制度に関する会計研修会	令和5年7月12日	(49名)
電子帳簿保存法への対応に関する説明会	令和5年12月8日	(30名)

5) 第26回和牛育種・改良問題セミナーの開催について 令和6年1月12日 (37名)

育種改良にかかわる支部・支所・委託団体関係者を対象として、繁殖生理学の総論と和牛の飼養管理・子牛育成に関する講義のほか、SNP情報を活用した育種・改良の取り組みの進捗状況について報告を行いました。

6) 全国支部長会、地方ブロック会議の開催について

(1) 全国支部長会並びに登録協議会の開催

全国支部長会並びに登録支部主任者会議 令和5年12月8日 (第77回)

登録協議会 令和6年1月23日 (第77回)

(2) 地方ブロック会議の開催について

和牛登録事業の円滑厳正な遂行、和牛の改良増殖に資することを目的として、以下の4ブロックで開催し、令和5年度事業の実施計画等について説明し、審査眼の統一を図るために審査研修を行いました。

ブロック	期 日	会場	参加者数
東部地区	5/18～ 5/19	群馬県渋川市	115名
中部地区	5/15～ 5/16	新潟県長岡市	58名
中四国地区	5/23～ 5/24	山口県山口市	124名
九州地区	5/29～ 5/30	宮崎県宮崎市	179名

4. 普及啓発事業

1) 第13回全国和牛能力共進会について

第13回全国和牛能力共進会の概要と出品条件の詳細策定のためのプロジェクト会議(6/21、9/19)を開催しました。また、第13回全共第1回全国連絡協議会(1/23)を開催し、共進会の概要および出品区の設定、最終比較審査会場までのスケジュール等について説明を行いました。

2) 各道府県共進会について

各道府県で開催される共進会に対して、派遣申請に応じて審査委員の派遣を行いました。

3) 高校生を対象とした家畜審査競技会及び研修会について

各県単位で取り組まれる高校生を対象とした家畜審査競技会及び研修会に対して支援を行いました。

4) トレーサビリティシステムと登記・登録情報の連携

家畜改良センターの個体識別情報検索サービスと連携する登記・登録牛確認システムを運用しました。また、牛肉輸出協議会と連携をとり、トレーサビリティシステムと登録情報、枝肉格付情報からなる和牛品質情報システムの運用に協力しました。

5) 各種刊行物

(1) 登録簿 9巻(基本5巻、本原4巻) ※電子媒体(DVD)にて発行

(2) 和牛誌 4冊(74巻1号～4号)

(3) 和牛だより 1回(第53号)

(4) 和牛産肉能力検定報告書(令和4年度直接法、令和4年度承認分現場後代検定法)

5. 令和6年能登半島地震にかかわる災害支援事業

令和6年能登半島地震にかかわる被災地支援のため、義援金の募集を行い、能登和牛改良組合を通じて全額を能登地域の和牛農家へ配分しました。

6. その他

畜産生産力・生産体制強化対策事業のうち家畜能力等向上強化推進事業（多様な改良情報の収集・分析等対策）を利用し、枝肉データ収集が行われ、産肉能力育種価評価に活用しました。また、国の施策に基づく「和牛の信頼確保対策」や、「地域固有系統の再構築支援対策」「和牛の飼料利用性評価指標検討普及事業」「和牛肉の新価値観構築事業」「デジタル式鼻紋採取システム構築・検証事業」等、和牛の登録事業と改良に資する事業を受託し、実施しました。

II. 運営管理の部

1. 会員および賛助会員について

会員数は40,272名（前年対比95.3%）、前年度実績比1,998名減少しました。賛助会員については、中央団体13団体、地方団体42団体、個人20名でした。

2. 会議等の開催について

1) 第77回通常総会 令和5年6月23日

[報告事項]

- 第1号報告 令和4年度事業成績報告
- 第2号報告 令和5年度事業計画報告
- 第3号報告 令和5年度収支予算報告
- 第4号報告 第13回全国和牛能力共進会最終比較審査会場決定の報告
- 第5号報告 第14回全国和牛能力共進会開催地決定の報告

[提出議案]

- 第1号議案 令和4年度財務諸表承認の件
- 第2号議案 令和5年度会費並びに登録関係諸料金徴収方法承認の件
- 第3号議案 令和5年度役員報酬承認の件
- 第4号議案 理事選任の件
- 第5号議案 社員選挙規則改正の件
- 第6号議案 付帯決議の件

2) 理事会

第213回 令和5年6月7日

[審議事項]

- 第1号議案 令和4年度事業報告について
- 第2号議案 令和4年度財務諸表について
- 第3号議案 理事の補充に伴う候補者の推薦について
- 第4号議案 規程類の改正について
- 第5号議案 第13回全国和牛能力共進会最終比較審査会場について

- 第6号議案 第14回全国和牛能力共進会開催地の決定について
- 第7号議案 特定費用準備資金の積立計画について
- 第8号議案 第77回通常総会の開催について

[報告事項]

- 1) 令和4年度会員並びに登録関係統計
- 2) 支部長の交代について
- 3) 令和5年度のおもな行事計画について

第214回 令和5年6月23日

[審議事項]

- 第1号議案 令和5年度理事報酬の決定について
- 第2号議案 支部内部規程の一部改正について
- 第3号議案 給与規程取扱要領の改正について

第215回 令和5年11月22日

[審議事項]

- 第1号議案 令和5年度上半期事業実施状況について
- 第2号議案 令和6年度事業計画骨子(案)について
- 第3号議案 遺伝子型検査申込情報データ入力費の改定について
- 第4号議案 特定費用準備資金の積立計画について
- 第5号議案 全国和牛能力共進会について
- 第6号議案 役員改選に伴う次期役員構成について
- 第7号議案 令和5年度認定和牛改良組合表彰について
- 第8号議案 神奈川県における事業委託団体の変更について

[報告事項]

- 1) 業務執行状況報告
- 2) 支部長の交代について
- 3) 令和4年度期末監査に基づく監事指摘事項の回答について
- 4) インボイス制度と電子帳簿等保存制度への対応について

第216回 令和6年3月22日

[審議事項]

- 第1号議案 令和6年度事業計画について
- 第2号議案 令和6年度収支予算について
- 第3号議案 特定費用準備資金の積立計画について
- 第4号議案 役員改選に伴う役員候補者の道府県割当について
- 第5号議案 「団体役員賠償責任保険」の契約締結について
- 第6号議案 「電子取引に関する事務処理規程」の制定について
- 第7号議案 中央審査委員会委員の委嘱等について

[報告事項]

- 1) 業務執行状況報告

- 2) 令和5年度中間監査に基づく監事指摘事項の回答について
- 3) 令和6年能登半島地震にかかわる義援金について
- 4) 令和6年度事務局体制について

3) 監事会 1回（6月23日）

[審議事項]

第1号議案 令和5年度監事報酬の決定について

4) 監査会 2回（6月6日、11月21日）

5) 公認会計士による会計指導 3回（7月12日、10月17日、11月1日）

6) 支部評議会、支部調査会、支所評議会、支所調査会等開催

3. 理事及び監事の氏名等

役職名	氏名	就任年月
会長理事（常勤）	向井 文雄	H20.8
副会長理事（非常勤）	春田 和則	R3.6
専務理事（常勤）	穴田 勝人	H28.7
理事（非常勤）	秋元 勝彦	R2.6
理事（非常勤）	後藤 元夫	R2.6
理事（非常勤）	安齋 彰洋	R3.6
理事（非常勤）	森 敦	R5.6
理事（非常勤）	渡部 幹雄	H20.7
理事（非常勤）	川崎 裕司	H28.7
理事（非常勤）	荒牧 弘幸	R5.6
理事（非常勤）	平木場 宗一	H20.7
監事（非常勤）	高嶺 英康	H22.7
監事（非常勤）	渡部 俊男	R2.6

4. 支部・支所一覧

支部名	所在地
青森県	上北郡七戸町字鶴児平72-1
岩手県	岩手郡雫石町七ツ森20-1
宮城県	遠田郡美里町北浦字生地22-1
秋田県	秋田市中通6丁目7番9号 畜産会館6F
山形県	天童市長岡北4-7-30
福島県	郡山市田村町金屋字川久保23番地
茨城県	常陸大宮市鷹巣1836-1
石川県	金沢市古府1丁目217番地
福井県	福井市高木中央2-4202 県経済連総合施設センター
岐阜県	岐阜市下奈良2-2-1 県福祉農業会館
三重県	津市一身田平野字護摩田6
京都府	京都市南区東九条西山王町1番地JA京都ビル
兵庫県	神戸市西区玉津町居住88番
島根県	松江市殿町19-1島根県農林会館別館3F
岡山県	真庭市草加部1810
徳島県	徳島市北佐古一番町61-11JA会館分室
佐賀県	多久市北多久町小侍1951-1
長崎県	長崎市銭座町3-3
熊本県	熊本市東区桜木6-3-54県畜産会館
大分県	大分市古国府六丁目4番1号 全農大分県本部別館2階
宮崎県	宮崎市広島1-13-10 県畜産会館
鹿児島県	鹿児島市鴨池新町15 JA鹿児島県会館7F

支所名	所在地
県北	平戸市田平町大久保免1544 JAながさき西海 平戸口中央家畜市場内
壱岐	壱岐市芦辺町国分東触706 JA壱岐市畜産部内
五島	五島市吉久木町938 JAごとう畜産事業所内
宮崎中央	宮崎市大字糸原305番地 JA宮崎中央内
南那珂	串間市大字大平5677 JAはまゆう内
都城	都城市高木町6222番地1 JA都城内
西諸県	小林市大字南西方1112 西諸県郡市畜連内
児湯	児湯郡新富町大字新田北畦原21696-1 児湯郡市畜連内
東臼杵	延岡市櫛津町3060 東臼杵郡市畜連内
西臼杵	西臼杵郡高千穂町大字三田井1番地 JA高千穂地区内
曾於	曾於市大隅町岩川5591-1 JAそお鹿児島畜産部内
大島	奄美市名瀬永田町17-3 大島支庁農政普及課内

5. 事業委託団体一覧

道県名	団体名	所在地
北海道	一般社団法人北海道酪農畜産協会	札幌市中央区北四条西1-1 JA北農ビル13F
栃木県	公益社団法人栃木県畜産協会	宇都宮市平出工業団地6-7 県畜産会館内
群馬県	公益社団法人群馬県畜産協会	前橋市亀里町1310番地
埼玉県	一般社団法人埼玉県畜産協会	熊谷市須賀広784
千葉県	千葉県肉牛生産農業協同組合	千葉市若葉区若松町432-35 県家畜商協同組合内
東京都	全国農業協同組合連合会東京都本部	立川市柴崎町3-5-24
山梨県	山梨県家畜改良協会	中巨摩郡昭和町西条3852-3 県酪農会館内
新潟県	全国農業協同組合連合会新潟県本部	新潟市西区山田2310番地15
富山県	公益社団法人富山県畜産振興協会	富山市手屋3-10-15 県獣医畜産会館内
長野県	全国農業協同組合連合会長野県本部	長野市大字南長野北石堂町1177-3
神奈川県	全国農業協同組合連合会神奈川県本部	平塚市土屋1275-1
静岡県	静岡県経済農業協同組合連合会	静岡市駿河区曲金3-8-1
愛知県	愛知県和牛改良協会	名古屋市中区丸の内3-4-10 大津橋ビル4階
滋賀県	一般社団法人滋賀県畜産振興協会	近江八幡市鷹飼町北四丁目12番地2
奈良県	奈良県農業協同組合	奈良市大森町57-3 農協会館
和歌山県	公益社団法人畜産協会わかやま	和歌山市美園町5-1-1 和歌山県JAビル5F
大阪府	大阪畜産農業協同組合	堺市南区畑1627
鳥取県	公益社団法人鳥取県畜産推進機構	鳥取市末広温泉町723 JA会館内
広島県	全国農業協同組合連合会広島県本部	三次市西酒屋町大久保513
山口県	公益社団法人山口県畜産振興協会	山口市小郡下郷2139番地
香川県	香川県農業協同組合	高松市一宮町字刷塚1431-1
愛媛県	公益社団法人愛媛県畜産協会	松山市千舟町6-5-9
高知県	一般社団法人高知県畜産会	高知市五台山5015-1
福岡県	公益社団法人福岡県畜産協会	福岡市博多区千代4-1-27 県自治会館4F
沖縄県	公益社団法人沖縄県家畜改良協会	島尻郡八重瀬町字外間106-2

Ⅲ. 収益事業の部

登録会館の賃貸業として収益事業を実施しています。賃貸契約については、1階入居者と賃貸契約を締結しています。また、地下1階及び2階については、随時会議室として貸し出しを行いました。

令和5年度事業報告の附属明細書

令和5年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。